

## Women's Studies Archive Women's Issues and Identities 女性関連の問題とアイデンティティ

センゲージ ラーニング株式会社 Gale

センゲージ ラーニング社 Gale 提供“Women's Studies Archive - Women's Issues and Identities”データベースは、欧米の研究機関や図書館が所蔵する定期刊行物や内部文書をデジタル化してご提供するデータベースです。主として 20 世紀のフェミニズムの歴史に迫る画期的電子リソースです。手書き資料以外の活字資料はすべてフルテキスト検索ができます。



### ◆女性解放運動の貴重な資料群

#### ～参政権獲得後のフェミニズム運動～

女性の権利拡張運動は、参政権の獲得を目指す運動から始まりました。19 世紀半ばから 20 世紀初頭にかけて、参政権獲得運動が本格的に展開されるようになり、その後、女性を含む国民を総動員した第一次世界大戦の経験を経て、戦後、欧米諸国で女性参政権が実現（アメリカでは 1920 年、イギリスでは 1928 年）、女性も法的に人間として認められるようになりました。

先進諸国では、政治的権利の問題や貧困を克服した後も、社会に蔓延する差別や不正などに立ち向かうべく、1960 年代には大規模な対抗運動が繰り広げられました。女性の権利に関しては、参政権を獲得し、政治的には人間として認められるようになったものの、家族や私的な領域、さらには対抗運動の内部にさえ男女差別が残る現実を前に、女性達は「個人的なことは政治的なことである」との認識の下、女性の権利の問題をラディカルに問い直し、女性が女性として解放されることを目指しました。こうして生まれたのが女性解放運動（第二波フェミニズム）です。

本データベースは、1960 年代から 70 年代にかけて先進諸国で展開された女性解放運動の下で生み出された膨大な資料群を精選して提供するものです。誕生から半世紀を経た女性解放運動に歴史的評価を下すべく、広く研究者の利用に供します。

### ◆女性史関連資料◆

女性解放運動（第二波フェミニズム）が展開される中で、アカデミズムの世界では、女性を学問の対象にする新たな知的動向が生まれました。とりわけ歴史研究において、女性史関連の講座の設置が進み、従来の男性中心の歴史を新たな視点で読み替えた多くのモノグラフや学術論文の刊行が刊行されました。このような動きと並行して進行したのが、女性史関連資料の収集です。アメリカでは 1968 年にカリフォルニア州バークレーに「女性史研究センター」が、1980 年には女性史関連の歴史資料を包括的に収集・提供する機関として「全米女性史プロジェクト (National Women's History Project)」が設立されました。

本データベースは、これらの機関が収集した雑誌、新聞、パンフレット、ニュースレター、会議録、報告書、覚書など、刊行物と未刊行資料の両方を提供します。

**◆産児制限、家族計画関係資料◆**

女性解放運動が取り上げた課題の中で、最も重要な問題の一つが出産に関わる権利でした。産む権利、産まない権利を問い直すことは、産児制限の歴史を問い直すことに通じます。

本データベースは、「全米家族計画連盟」の創設(1918年)以降、約半世紀に亘る内部文書のほか、世界で初めて家族計画を奨励したイギリスの団体「マルサス主義連盟」の月刊誌『ザ・マルサシアン』を、1879年の創刊号から1921年まで収録します。

**◆スワスモア大学所蔵、戦間期アメリカの平和運動関連資料◆**

第一次世界大戦は、平和運動史における大きな転換点です。空前の死傷者を出した第一次大戦は人々に衝撃を与え、戦後、国際連盟や国際問題研究所の設立やパリ不戦条約の締結など、平和推進のための国際条約や組織が生まれました。

アメリカでは、参戦の是非を巡って世論が二分し、参戦反対派は組織的な運動を展開しました。「女性反戦党」も、そのような動きの中で設立されました。終戦後も、アメリカの女性達は、ヨーロッパで設立された国際機関「女性国際平和自由連盟」を通じて、各国の反戦組織と連携して反戦運動を展開しました。

本データベースは、アメリカ有数の平和研究機関であるスワスモア大学が所蔵する平和運動関係資料から、「女性反戦党」「女性国際平和自由連盟アメリカ支部」「女性平和連合」の三つの団体の文書を提供、知られざる戦間期アメリカの平和運動に光を当てます。

**◆一世紀におよぶフェミニズムの歴史****～全米女性史プロジェクト・社会史国際研究所所蔵 定期刊行物～◆**

女性参政権運動の資料群、戦間期アメリカの女性平和運動の資料群と並んで、本データベースの中核をなすのが女性関連の定期刊行物(雑誌、新聞、ニュースレター)です。1880年代から1970年代までの100年間に、アメリカ、オーストリア、ベルギー、フランス、ドイツ、オランダ(オランダ領インドネシア含む)のヨーロッパ諸国で刊行された約1,000タイトルを収録します。アメリカの刊行物については「全米女性史プロジェクト」、ヨーロッパの刊行物については、アムステルダムにある世界有数の社会主義、労働運動史、政治運動史関係資料の所蔵機関「社会史国際研究所」の所蔵資料を収録します。第一波から第二波までのフェミニズムの歴史が定期刊行物を通して蘇ります。

**◆収録コレクション◆****【アメリカ】****■Herstory**

- ・ 収録資料:定期刊行物(雑誌、新聞、ニュースレター)
- ・ 収録期間:1956年-1974年
- ・ 原資料所蔵機関:全米女性史プロジェクト

1956年から1974年にかけて、アメリカ国内外で行われた女性権利拡張運動の展開を記録した、雑誌、新聞、ニュースレターを収録します。これらの資料は、アメリカ最大の女性団体「全米女性機構(National Organization of Women)」、レスビアン、フェミニズム運動のパイオニア的団体「ブリティスの娘たち」、「平和と自由のための女性国際連盟」、「平和のための女性運動」等の各種女性団体が、米国最大の女性史資料収集機関「全米女性史プロジェクト(National Women's History Project, NWHP)」に寄贈した刊行物の中から、NWHPが選定したものです。アメリカ最初の女性解放運動のニュースレター『女性解放運動の声(Voice of the Women's Liberation

Movement)』、アメリカフェミニズム系雑誌を代表する『ミズ(Ms.)』、アメリカ最初のラディカル・フェミニズムの雑誌『女性解放ジャーナル(A Journal of Female Liberation)』、ユダヤ教フェミニズムの雑誌『リリス(Lilith)』、イギリスで最初に女性解放運動を始めた女性グループが発行したニュースレター『シュリュー(Shrew)』など、約200タイトルを収録します。「ビリティスの娘たち」の機関誌”The Ladder”はほぼ全号、女性権利拡張のパイオニア、マリアン・アッシュ(Marian Ash)が刊行したニュースレター”Skirting the Capitol”は全号が収録されています。その他、全米女性機構の地方支部のニュースレター、地方の女性団体の刊行物、さらには、カナダ、イギリス、ドイツ、オーストラリア、チェコスロバキアなど、アメリカ以外の女性団体の雑誌やニュースレターも収録されています。賃金の平等、生殖の権利、平和運動における女性の役割など、20世紀後半の女性権利拡張の歴史を研究する上で貴重な資料集です。



## ■ Women and Health/Mental Health

- ・ 収録資料:パンフレット、ニュースレター、報告書、会議録、覚書
- ・ 収録期間:1965年-1975年
- ・ 原資料所蔵機関:全米女性史プロジェクト

「女性史ライブラリー」は、女性史関連の資料収集を目的とし、1968年に設立されました。女性史に対する関心が高まる中、所蔵資料も増え、特に1960年代から1970年代にかけての女性解放運動最盛期の資料は、全米有数の規模を誇ります。また、女性の健康と精神衛生に関するコレクションはライブラリーの最も重要なものの一つです。

本コレクションは、パンフレット、ニュースレター、報告書、会議録、覚書、新聞記事、雑誌記事で構成されています。”People”, ”Harper’s Bazaar”, ”Psychology Today”など、女性の健康を精力的に取り上げた雑誌の特集記事も収録されています。

本コレクションの最大のテーマは中絶と産児制限です。その法的、財政的、医学的、政治的側面を論じ、子宮内避妊用具、男性用避妊薬、コンドーム、性的禁欲、そして激しい論争的になった経口避妊薬等のテーマを取り上げ



ます。その他、栄養、ダイエット、睡眠、不眠症、薬物依存、鬱病、ライフサイクルの各段階での諸問題など、女性の健康全般の問題を取り上げています。

#### ■ Women and Law Collection

- ・ 収録資料: ニュースレター他
- ・ 原資料所蔵機関: 全米女性史プロジェクト

カリフォルニア州バークレーにある「女性史研究センター」が1969年から1975年にかけて収集整理した新聞記事、雑誌記事、ニュースレターなどを収録します。メディアにおける性差別、児童保育環境の改善を求める女性の闘い、女性参政権運動、女性反戦運動、従業員給付や育児休暇に関する裁判、さらには、ルース・ギンズバーグ(現最高裁判事)が設立した「アメリカ自由人権協会(ACLU)」の女性人権プロジェクトなど、女性に関連する法的問題を広範囲に扱っています。

#### ■ Grassroots Feminist Organizations, Part 1: Boston Area Second Wave Organizations, 1968-1998

- ・ 収録資料: 各種団体議事録、書簡、ニュースレター
- ・ 収録期間: 1968年-1998年
- ・ 原資料所蔵機関: ノースウェスタン大学

第二波フェミニズム運動の拠点となったボストンのフェミニズム団体、女性団体の内部文書を収録します。各団体の議事録、財務・人事関係の記録、書簡、ニュースレターを通して、家庭内暴力、人種差別、ポルノ、レイプ、生殖の権利、LGBTQの権利など、ボストンのフェミニストの活動を浮き彫りにします。

《収録されている団体》

- ・ The Abortion Action Coalition
- ・ Boston Area Feminist Coalition
- ・ Boston Women's Union
- ・ Boston chapter of Women Against Violence Against Women
- ・ The Female Liberation
- ・ Women's School

#### ■ Grassroots Feminist Organizations,

##### Part 2: San Francisco Women's Building / Women's Centers, 1972-1998

- ・ 収録資料: 団体会議録、書簡等
- ・ 収録期間: 1972年-1998年
- ・ 原資料所蔵機関: ゲイ、レスビアン、バイセクシュアル、トランスジェンダー歴史協会

ボストンと共に、第二波フェミニズム運動の拠点となったサンフランシスコの女性団体「ウィメンズ・ビルディング/ウィメンズ・センター」の会議録、財務記録、書簡、ニュースレター等の内部文書を収録します。この団体は、女性が所有・運営するアメリカ初の団体として知られ、多くのプロジェクトや女性グループを支援しました。

収録文書は、国、文化、宗教、人種、生活環境の相違を超えた、女性支援団体との関わりに光を当てます。また、ゲイやレスビアンの権利、医療、立法、生殖の権利、さらには、中米への軍事介入、エイズ、アフターマティブ・アクションなど、直接には女性の権利とは関わりない問題をも取り上げました。加えて、映画、演劇、詩、音楽、美術への支援活動の実態も明らかにします。

## ■ Planned Parenthood Federation of America Records, 1918-1974

- ・ 収録資料: 書簡等の団体内部文書
- ・ 収録期間: 1918年-1974年
- ・ 原資料所蔵機関: スミス・カレッジ図書館、ソフィア・スミスコレクション

生殖医療分野では米国最大の医療組織「全米家族計画連盟」は、産児制限活動家マーガレット・サンガーが創設した「アメリカ産児制限連盟」と全米初の産児制限臨床施設「産児制限臨床研究局」が統合されたものです。本コレクションは、「全米家族計画連盟」の前身の時代を含め、1918年から1974年までの内部文書を収録します。

連盟の文書は、産児制限の合法化を獲得するまでの連盟の活動を明らかにするとともに、第二次大戦後の環境変化に応じてミッションを再定義していった過程を浮き彫りにします。

産児制限をはじめとする家族計画関連の政策やプログラムが確立するまでには、多くの団体や個人との協働が求められました。本コレクションは、家族計画の政策に関わった人々の考えにも分け入りながら、産児制限や家族政策の政策形成過程を明るみに出します。



## ■ Collected Records of the Woman's Peace Party: 1914-1920

- ・ 収録資料: 書簡、会議録等
- ・ 収録期間: 1914年-1920年
- ・ 原資料所蔵機関: スワスモア大学平和コレクション

第一次大戦開戦から半年後の1915年1月、女性参政権論者キャリー・チャップマン・チャットとセツルメント運動の創始者ジェーン・アダムズが、反戦のための政党「女性反戦党」を創設、1年ほどで200の支部と4万人の党員を擁するまでに拡大しました。党は、交戦国の調停を行なうようウィルソン大統領に働きかけるも、1917年にアメリカは参戦、議会は反戦運動を抑える法律を通しました。「女性平和党」内部は分断し、地方支部の多くは解散しました。本部やマサチューセッツ支部のように戦争被害者を救援する活動に従事した組織もあれば、ニューヨーク支部のように戦争への関与に反対し続けた組織もあります。終戦後の1919年、アメリカとヨーロッパの女性がチューリッヒで「女性国際平和自由連盟」を創設した際、「女性平和党」は連盟のアメリカ支部になりました。

本コレクションは1914年から1920年までの「女性平和党」の文書を収録します。半分以上は書簡で構成され、残りは、会議議事録、演説の記録、党員リスト、決議の記録、財務に関する文書、議会の公聴会の記録、議会の委員会の記録、プレスリリース等で構成されています。本部の書簡は、他の平和団体との関わり、学校における軍事教練への反対活動、良心的兵役忌避者への関与、アメリカ参戦後の食糧支援活動など、女性平和党の活動を明るみに出します。ジェーン・アダムズ、エミリー・ボルチ、クリスタル・イーストマン、ウッドロー・ウィルソンらの書簡が収録されています。

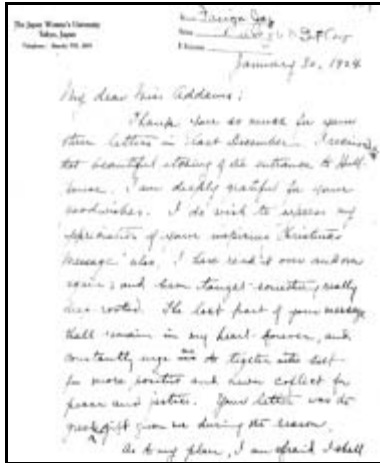


## ■ Women's International League for Peace and Freedom: United States Section, 1919-1959

- ・ 収録資料: 書簡、議事録、定期刊行物他
- ・ 収録期間: 1919年-1959年
- ・ 原資料所蔵機関: スワスモア大学平和コレクション

「女性国際平和自由連盟」は 1915 年に創設された国際組織です。同連盟の米国支部は、ジェーン・アダムズとキャリー・チャップマンにより同年設立された「女性平和党」として始まりました。アダムズは連盟の初代会長を務め、連盟の財務責任者エミリー・ボルチとともに、ノーベル平和賞を受賞しています。米国支部はピーク時には、100 以上の国内地方支部と 13,000 人以上の会員を擁する大きな組織になりました。

本コレクションには、米国支部が地方支部、他の平和団体、政府機関、個人と交わした書簡、米国支部が発行したハンドブック、年次総会関係資料、理事会の議事録と決議、周年事業関係資料、米国支部が発行した定期刊行物が収録されています。日本支部をはじめとする各国支部との往復書簡も収録されています。



日本女子大学学長上代タノがジェーン・アダムズにあてた書簡(1924年1月30日付)

連合国との講和条約締結を前に日本支部や他団体の女性たちが共同でアメリカのダレス国務長官に宛てた要望書(1951年2月8日付)。単独講和ではなく全面講和、講和条約締結後の即時国連加盟、特定国への基地提供ではなく国連の下での安全保障が要望の骨子。市川房枝、平林たい子、平塚らいてう、上代タノ、武田清子、神近市子らが署名している。

■ Records of the Women's Peace Union: 1921-1940

- ・ 収録資料: 書簡、会議録等の団体内部文書
- ・ 収録期間: 1921年-1940年
- ・ 原資料所蔵機関: スワスモア大学平和コレクション

1921年に創設された「女性平和連合」は、戦争の廃絶を説く平和団体です。1923年に、戦争の準備、戦争への予算支出、戦争の遂行を違法・違憲とする憲法修正案を、連合メンバーのエリノア・バーンズとキャロライン・バブコックが起草、連合はこれを議会で通過させることを最大の目標に、議会でのロビー活動、支持者からの請願書の募集活動を展開しました。コレクションに収録される文書の多くは書簡で、憲法修正案を1927年から1940年まで毎年議会に上程したノースダコタ州選出リン・フレイザー上院議員、ハンガリーの平和主義者シュヴァインメル・ロージから、団体が深く関わりを持った個人との書簡、会議議事録、プレスリリース資料、議会の公聴会関連資料等を収録します。両大戦間期のアメリカにおける知られざる平和運動の実態を明らかにする貴重な資料集です。

■ Committee of Fifteen Records, 1900-1901

- ・ 収録資料: 捜査報告書、被疑者供述書
- ・ 収録期間: 1900年-1901年
- ・ 原資料所蔵機関: ニューヨーク公共図書館

15人委員会(1900-1901)は、ニューヨークの実業家と学者からなる民間グループです。売春とギャンブルを悪とし、これらと闘うために創設されました。委員会は、悪が行なわれている場所を示す証拠を集め、地方政府当局に対して悪を根絶するための立法化を促しました。これらの活動は汚職が渦巻くニューヨークの民主党市政にも異議を唱え

る結果となりました。また、日曜日にホテル以外で酒類の販売を禁じたレイズ法の下、バーに部屋を増設、ホテルと称して酒類を提供した、いわゆる「レイズ法部屋」が売春の温床になっていたため、これにも委員会は大きな関心をもって臨みました。委員会に資金提供された捜査官がおとり捜査でマンハッタンの歓楽施設を訪問、これら捜査官の情報が、警察の手入りに大きく貢献しました。

収録資料の多くは、供述書や捜査官の報告書です。捜査官の報告書は、捜査対象の建物、容疑の詳細、容疑者名と民族的出自、捜査の詳細などの情報を含みます。また、委員会議事録、委員会と市議会や衛生当局との書簡を収録します。世紀転換期のニューヨークにおける売春の実態、ニューヨーク市政の腐敗、市政改革の試みをヴィヴィッドに伝える貴重な資料集です。

## ■ Women's Lives

- ・ 収録資料: 書簡、日記等
- ・ 収録期間: 1834年-1964年

19世紀から20世紀にかけてのフェミニズムの歴史に足跡を残した女性達の人生と活動に光を当てる資料集です。アメリカ共産党の党員で労働の権利の唱導者であるエリザベス・ガーリー・フリン、イギリスの女性参政権活動家であるメアリ・ガーソープ等がとりあげられています。

エリザベス・フリン文書は、女性や移民の権利を擁護し、ストライキにも従事し、しばしば公の場でも行ったフリンの活動を、論文、書簡、日記、演説、詩作品等を通して明らかにします。

メアリ・ガーソープ文書は、女性参政権と労働者の教育を擁護したガーソープの活動を、日記、書簡、自伝”Up Hill to Holloway”等を通して明らかにします。

そのほか、1840年代から1980年代にかけて世界各国でキリスト教布教活動を展開した女性宣教師、西部開拓期の太平洋沿岸フロンティアにおける女性も取り上げられています。

## 【イギリス】

### ■ Malthusian, 1879-1921 (formerly Women and the Social Control of Their Bodies)

- ・ 収録資料: 定期刊行物
- ・ 収録期間: 1879年-1921年
- ・ 原資料所蔵機関: ロンドン政治経済学院図書館

世紀転換期の二つの雑誌『ザ・マルサシアン』と『ユージェニクス・レビュー』を収録します。

『ザ・マルサシアン』は、世界で初めて家族計画を奨励した団体「マルサス主義連盟」の月刊誌です。連盟は、過剰人口が貧困の最大の原因とみなし、人口問題を忌憚なく議論し、人口法則とその帰結、人間の行動とモラルへの影響に関する知識の普及を目標にしました。連盟の活動は、公共政策やフロイトやマーガレット・サンガーら、知識人の思想にも影響を及ぼします。本コレクションでは、『ザ・マルサシアン』を1879年の創刊号から1921年の最終号まで収録します。貧困、過剰人口、人口動態、法制度、人種、産児制限等の問題を取り上げるほか、連盟の議事録や家族計画が討議された医者や政策立案者の会合の記録を収録します。

『ユージェニクス・レビュー』は、「優生学教育協会」の季刊誌です。会員同士の親睦を深め、優生学の知識を広く普及させ、科学的根拠の上に優生学を打ち立てることを目標としました。創刊号には、優生学という言葉を初めて使った遺伝学者フランシス・ゴルトンが序言を寄せています。本コレクションでは、『ユージェニクス・レビュー』を1909年の創刊号から1921年の最終号まで収録、産児制限、中絶、離婚、犯罪、貧困、法制度等の問題を取り上げます。

## ■ Women's Labour League: Conference Reports and Journals, 1906-1977

- ・ 収録資料: 定期刊行物、年報、議事録等
- ・ 収録期間: 1906年-1977年
- ・ 原資料所蔵機関: 人民の歴史博物館

「イギリス女性連盟」は、女性の選挙権獲得と社会的地位向上を目指して 20 世紀初頭に設立、1918 年に「労働党女性部」として再編されました。

本コレクションは、連盟の年次総会の議事録、年報等を収録します。総会議事録は 1906 年の第 1 回大会から 1977 年の第 53 回大会まで収録されています。連盟の雑誌”League Leaflet”は 1911 年から 1913 年までの 28 号分が、”The Labour Woman”は 1913 年の創刊から 1971 年の廃刊までの全号が収録されています。

20 世紀イギリスを代表する女性団体の活動を通して、現代イギリス女性史の一側面が浮かび上がります。

## 【ヨーロッパ】

### ■ European Women's Periodicals

- ・ 収録資料: 定期刊行物
- ・ 収録期間: 1840年-1940年
- ・ 原資料所蔵機関: 社会史国際研究所

本コレクションは、オーストリア、ベルギー、フランス、ドイツ、オランダ、オランダ領インドネシアで発行された女性向け定期刊行物を収録します。古くは 1830 年代に発行されたものもありますが、大半は 1880 年代から 1940 年代にかけてのものです。これらの定期刊行物は、文学と芸術、女性参政権、産児制限、教育、家事に関して女性が自身の考えを述べられるよう、啓蒙的な役割を担い、社会主義運動、カトリック、若い女性や働く女性の関心事、特定の政党や政治運動など、多種多様な事柄をとりあげました。

## ◆インターフェイス◆



掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 データベース営業部

(電話:03-6910-0518、ファクス:03-6420-1359、e-mail:[online@kinokuniya.co.jp](mailto:online@kinokuniya.co.jp)) までお願い致します。

お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaiyo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。